

KAIKE PRESS #04

2022/june



魅力の掘り起こし

水一広場は、地域の方や市内の方が日常的に皆生温泉を訪れたいくなる「まち」をめざすためにはじまった取組です。

皆生温泉エリア経営実行委員会のメンバーが、毎月第1水曜日に催しを開いています。この催しは、メンバーが毎月交代でテーマや場所を決め、訪れる方が皆生温泉エリアのいろんな場所でも、気持ち良いと感じる時間を過ごしてもらえるように、まずはメンバー自身が気持ち良く使いこなしていくことからやってみよう！という取り組みです。併せて周辺の清掃活動も行われます。

普段使われていない松林など遊休地を活用し、温泉街の新たな魅力を発見・発信することで、日常的な活動が実施されているまちにつなげたいと考えています。

この取り組みをきっかけとして、皆生温泉エリアが多様な活動を受け入れる場所になりたい、地域に変化をもたらす「スイッチ」になってほしいという願いもこめ、水一広場（スイッチひろば）と呼んでいます。



活用する周辺の事前清掃活動も参加者みんなでいきます

地域にSWITCHをもたらす 水一（スイッチ）広場

いつもは使われていない皆生温泉街の一角が毎月第1水曜日、地域の人や宿泊客が自由に行き来して、飲食や語らいを楽しめる「水一（スイッチ）広場」に姿を変えます。



松林の中に素敵な空間ができあがっていきます

ポテンシャルを活かす

5月の第1水曜日の11日、米子市観光センターにほど近い松林で水一広場が開かれました。3月に行われた周遊型イベント「うごくまちぐるぐるのかいけ」で作成した移动式屋台を使い、どんぶりや餃子、コーヒ、アルコールなどの販売がありました。来場者は松林の中央に設けられたたき火を囲んで提供されたメニューに舌鼓を打ち、心ゆくまで会話を楽しんでいました。

5月の水一広場の企画を担当した吉田輝子さんは「ポテンシャルのある皆生温泉を盛り上げる取り組みになっていけば」と期待を寄せています。

温泉街をかえていく

温泉街を取り巻く環境は年を追うごとに変化しています。かつては団体客でにぎわったエリアでした。しかしながら、近年は個人旅行にシフトし、訪れる方が減っています。旅行先の観光資源ならではの体験や、地域とのふれあいといった「その場所ではできないこと」が求められるようになりました。

皆生温泉エリア経営実行委員会のメンバーは、地域の方にとって「豊かな時間を過ごせるまち」、「訪れたい場所」、「自分の居場所がある場所」、「日常が溶け込んだ場所」になってこそ、選ばれ続ける温泉街になれると考えます。

水一広場は地域住民や事業者に皆生温泉の新たな魅力に触れる機会にもなっています。皆生温泉エリア経営実行委員会の坂内和孝副会長は「皆生温泉はポテンシャルがある。遠回りかもしれないけど、現代にあったやり方を探したい」と目を輝かせていました。



焚火を囲んで語ったり、食べたり、飲んだり・・・新しい活用アイデアが飛び交います

お知らせ

時間貸駐車場、増加中!!

皆生温泉エリア内の、時間貸駐車場不足を解消するため、akippa という空きスペース登録サービス活用を促進中です!!

akippaはコチラ



※[皆生シーサイドホテル海の四季]の駐車場も登録されています!

イベント

水一 SWITCH 広場

皆生のまちを楽しくSWITCHしていく、毎月第一水曜の屋外イベントです。事前清掃&交流イベントを毎回開催! だれでも、毎月第一水曜は 16:00 に、米子市観光センター前の広場にお越しください!



※5月11日開催時の様子です(^^♪ 楽しいですよ~!!

シンポジウム動画、ご覧ください!!

2022年3月26日(土)に開催された皆生温泉の未来を考えたシンポジウム。動画でご覧いただけるようになりました!(^^)!



動画閲覧はコチラ



KAIKE PRESS #04

2022/june



特集

海水浴場のリ・ブランディングが進んでいます！ 皆生温泉海遊ビーチ

海水浴場の名称変更・施設の改修

令和3年、海水浴場の名称が公募により全国から150通もの応募をいただき、「皆生温泉海遊ビーチ」に改名されました。また、老朽化していた海浜施設（海の家）が改修され、利用者の消費拡大を図るため、居心地の良い空間の提供として様々な取り組みがされています。



▶ビーチでアクティビティもグルメも満喫「皆生温泉海遊ビーチ」



▶マリンスポーツに加えビーチテニスなどのビーチスポーツも！



海遊ビーチから見る朝日や夕日は格別！お茶やお酒をゆつたり楽しめるよう、ホームページ記載の時間外も営業していることもありますので、ぜひお立ち寄りください！

「人に優しい」

ユニバーサルビーチへの取組

今年、障がいのあるなしに関わらず、誰もが共にレジャーを楽しむことができ「人に優しい」ユニバーサルビーチに向けた取組みの一環として、ヒップキャンブ（水陸両用アウトドア車いす／2台・要予約）の無償貸出しや、車いすやベビーカーなど砂浜が移動しやすいアクセスマット（60m）の設置を予定されています。また、子どもの命を悲しい溺水事故から守るため、子供用のライフジャケット（無料貸出）の着用も推奨されています。



▶障がいのあるなしに関わらないユニバーサルビーチへ「ヒップキャンブ」「アクセスマット」

今後は、夏季シーズンに限らず、皆生温泉の強みである「海」「砂浜」の通年利用に向け、砂浜等の環境を利用したイベントの実施の他、GWから海浜施設を設置し、白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース利用者の立寄り施設として運用が予定されています。

皆生温泉海遊ビーチのさらに詳しい情報はコチラ！

コラム 実行委員会のなか vol.1

こんにちは。4月から発行をはじめたこのカイケプレス、早くも4号目となりました。今回から実行委員会メンバーの紹介や、取り組みの全体像を解説していきます。今回は、「エリア経営」そのものについて、紹介します。

ここで言う「エリア」とは、もちろん、この皆生のことです。では、経営とは何でしょう？経営、でまず思い浮かぶのは、「会社」でしょう。社長は、会社が継続できるように考え、何に投資すべきかを判断します。でも社長ひとりだけでは実現できません。社員みんなで協力して、考え、行動することで達成します。エリア経営実行委員会は、そんな会社経営と同じように、かかわるみなさんと、この皆生を運営してきましょう、というのです。

「どのような環境づくりや仕組みがあれば、多くの方にとつ

てかかわりやすい皆生になるだろうか。どのような活動によって、皆生の魅力が高まっていくだろうか。」という視点で考え、何に対して投資すべきかを判断し、地域の方、事業者などの「かかわりしろ」を増やし、日常的に、皆生で様々な人たちが、それぞれ思い思いに過ごしているような状態を目指しています。

まずは、実行委員会で素案を作成してみました。まず、皆生のまちにとって必要な、5つの場所、5つの取り組みを実践していきます。どんどんやります！みなさん、エリア経営実行委員会、カイケプレス、かいけラボの名前を耳にしたら関わってください(^^)

まずはやってみるから初めて、みんなで意見を交わしながら、このまちをより良くしていきたい、それがこの実行委員会の想いです。

▼これらの場所で、これらのことを、まずはやってみよう(^^)と考えています！

5つの場所	5つの取り組み
01.道路	06.灯り
02.遊歩道	07.移動性
03.砂浜	08.駐車場
04.未利用地	09.主体・参画者
05.公園	10.発信

カイケエリアデザイン

ちょっとでも興味がわいたら、エリアデザインの全編を見てみてくださいね～

